

●●● 学生の自主活動への支援 ●●●

本九祭・医学展を開催

第十八回本九祭実行委員長 松本 嵩史

この度は熊本大学医学部の学園祭「本九祭」運営のため肥後医育助成金を賜り、関係者のみなさまに深く御礼申し上げます。医学部学生一同を代表致しまして、心から感謝しております。

今年十一月五日、六日に熊本大学医学部本荘キャンパスにて本九祭の開催を予定しております。十八回目を迎えます今年のテーマは「医の力」熊本から元気を」とです。医気揚揚とは医学に真摯に取り組み、何事にも全力で、互いに高めあい、盛り上がっていくという我々の姿を通して地域の人々と触れ合い、生命の偉大さ、医療の素晴らしさに少しでも興味を持っていただき、震災等で疲弊している世の中で、少しでも明るく頑張っているという様子を知る機会を提供できればという願いが込められています。我々学生が日ごろどのような事を学んでいるのか、大学でどのような研究が行われているのかを見て、触って、感じていただけるような展示を予定しております。そして、この本九祭を機に地域の皆様にとって熊本大学医学部が少しでも身近な存在になれば幸いです。

今年、JAXAに所属しておられます、小惑星探査機「はやぶさ」プロジェクト

クトの一員であり、「はやぶさ2」プロジェクトリーダーの吉川真准教授、そして、さらに、アニメ「ワンピース」主人公ルフィの声優でお馴染みの田中真弓さんによる講演、地域密着型のイベント（熊本人によるお笑いライブ）などを予定しております。また他にも、ドクター・ナース体験や模擬手術体験、医学研究の最先端に触れられる参加型の医学展示等を多数ご用意しております。もちろん毎年多くの方にご好評を頂いている人体解剖学、漢方展示、救急体験、コメディカルの仕事紹介も予定しております。また各部活動などが出店するバザー、軽音楽部とアンサンブル部による音楽ライブ、ピング大会、ミス本九祭を決めるミスコンなどなど、バラエティとエンターテインメント性に富んだ楽しい企画も盛りだくさんです。皆様お誘い合わせの上、ぜひ本九祭へお越し下さい。

「蕃滋祭」の開催

蕃滋祭実行委員長 熊本大学薬学部薬学科 三回生 西田 健人

この度は熊本大学薬学部の蕃滋祭運営のため肥後医育振興会助成金を賜り、関係者の皆様に深く御礼申し上げます。肥後医育振興会のお力添えにより、私たちは、平成二十三年十一月五日（土）、六日（日）に大江地区におきまして薬学部

蕃滋祭を無事開催することが出来ました。薬学部学生一同を代表してここに報告いたしますとともに、心から感謝申し上げます。

蕃滋祭は、薬学部の近隣に住んでおられる地域の皆様をはじめ、卒業生の方々さらにはこれから薬学を目指すとする方々に対して、現在の熊本大学薬学部の校風を体感していただき、薬学に少しでも興味を持っていただくために、毎年開催しております。

昨年は熊本創立一二五周年記念大薬学展として、例年以上に力を注いで行いました。本年は、さらに充実した薬学展を開催できるようにと、薬学展改め「蕃滋祭」という名称に変えさせていただきました。「蕃滋」とは、熊本大学薬学部の基となる薬園「蕃滋園」を由来としています。「蕃滋園」という名は、福利厚生施設「蕃滋館」として、今もなお熊薬で受け継がれており、施設内には学生食堂、購買所などが設けられ、学生及び教職員が利用する憩いの場となっております。公開実験としては、火傷によく効く紫雲膏の作成、水道水や河川など身近な水の硬度測定を行います。模擬授業はとて

もユニークな先生が行ってくださるため、参加者の方々にも有意義な時間が提供できるとおもいます。また、模擬店の規模も去年より拡大し、さらなる地域交流を目的としています。体育館にはステージを設けており、軽音楽によるライブをはじめ、ミスコン、クイズ大会など様々な企画を準備しております。模擬薬局では薬剤師体験もでき、薬学部全体でいろ

ろな企画を体験できるいい機会だと思えます。また、第一回蕃滋祭のスペシャルゲストとしてYANAGIMAN、かなぶんや、Kenshiroの三人をお呼びしました。YANAGIMANはケツメイシやFUNKY MONKEY BABYSを始めとする様々なアーティストをプロデュース、作曲、編曲を手がけている方です。「地域や地元の声聞き、そこでの地域活動を音楽を通して伝えていくこと」を活動の方針としており、彼らと熊薬が共に行動することで、さらに熊薬と薬学のことについて知っていたければと思っております。

今回の蕃滋祭を通して多くの方々に熊本大学薬学部と薬学についてより深いご理解とご支援を受けたと感じております。また、運営にあたって学生が切磋琢磨し、向上心と愛校心を培うことができました。このような蕃滋祭を開催できたのも偏に薬学部を支援してくださる皆様のおかげだという事を常に心に留め、これからもいっそう薬学部と医療全体の活性化のために学部生一同一丸となって邁進していきたいと思えます。また、地域と医療の架け橋となるべく、これからも蕃滋祭を通して地域の皆様に少しでも薬学部を知っていただけるように頑張りたいと思えます。

最後に、肥後医育振興会と熊本県の医療の益々の発展を祈念してご報告とさせていただきます。この度は誠にありがとうございました。